関係各位

島原中央高校 女子バスケットボール部 顧 問 川 渕 龍之介 コーチ 山 崎 純 男

令和7年度 ウィンターカップ予選 結果報告(最終日=20日)

1 場 所 佐世保

2 期 間 令和7年10月18日(土)・19日(日)・20日(月)・26日(土)

3 試合結果 別記

4 詳 細

	選手プロフィール					l	1⊟	18	長崎東			288			佐世保商		288		38	鎮西			3		1目 延長		長崎西			備考	
#	名	前	年	身長	出	身	S	時間	FG	FΤ	点	Р	S	時間	FG	FΤ	点	Р	S	時間	FG	FΤ	点	Ρ	S	時間	FG	FΤ	点	Ρ	Note
4	新	粥	3	165	佐世保	相浦	S	15	10/16	0/0	20	2	S	24	4/11	0/0	9	2	S	35	8/11	0/0	18	2		34	16/17	1/1	15	2	
5	濱	Ш	3	158	横浜市	旭が丘																									
6	亶	松	3	163	福岡県	太宰府		26	13/17	0/0	26	1		10	2/3	0/0	4	1		20	6/9	0/2	12	1	S	28	2/7	1/2	5	0	
7	奥	野	3	165	長崎県	千々石		26	6/13	0/4	12	2		11	0/2	0/0	0	0		7	6/13	0/0	0	0	S	9	0/3	0/0	0	1	
8	늼	\blacksquare	3	174	佐賀県	鏡中		9	1/3	2/2	4	0		4	0/2	0/0	0	0		5	0/1	0/2	0	1	S	5	1/2	2/2	2	0	
9	荒	井	2	155	兵庫県	折尾中	S	10	3/4	0/0	6	1	S	28	4/10	0/0	11	0	S	27	1/5	1/1	3	1		35	3/4	0/0	2	2	
10	浅	野	2	170	群馬県	折尾中																									
11	大	倉	1	171	熊本市	竜南中		16	5/6	0/0	10	0		7	2/3	0/0	4	0													
12	窪	⊞	2	163	佐世保	福石中		14	5/9	0/0	11	0		9	2/3	2/2	6	0								9	0/1	0/0	0	1	
13	生	⊞	2	155	北九州	城南中	S	20	2/3	0/0	4	1	S	28	5/8	0/0	13	0	S	32	4/8	4/5	12	1		25	0/2	0/0	0	1	
14	橋	本	2	155	鹿児島	串木野		24	4/7	1/2	10	2		_	5/11	1/2	12	1		30	3/9	1/4	8	0		25	2/8	1/2	6	2	
15		マラ	3	182	セネガル	0		2	1/1	0/0	2	0	S	18	15/20	1/1	32	2	S	34	1/1	4/5	26	3	S	39	16/30	4/8	37	2	
	松	岡	3		佐世保					2/2	4	1		4	0/1	2/2	0	0			0/0	0/0	0	0			2/2	2/2	4	2	
17	榊	原	2			音羽中	S	-	_	0/0	11	0	\vdash		1/4	0/0	3	0	S	10		0/0	0	H				0/0	0	-	
18	松	尾	2	171	佐世保	福石中	S	15	5/7	0/0	10	0		18	3/9	0/0	6	1			0/0	0/0	0	0	S	6	0/0	0/0	0	1	
																						-									
						4.0	000	24					000	07			44		000	47			45		005	45			40		
	左		Ė	京中央	1	1 P 2 P	200	31			9	_	200	27 36			11 17		200	17 26			15 13		225	15 17			19 14		
	左	: 相手				3 P		24			10			22			7			19			11			18			11		
		·	107	, ,		4 P		36			21			15			7			17			6			14	6	8	20		
	С)=勝	ち	•=	<u></u> 負け	計	0	130			48		0	100			42		0	79			45		•	64		Ť	64		

5 所 感

初口

カマラはもうコートに現れないと決めて布陣を考えました。3日前のことです。すると何の釈明もなく突然カマラはコートに現れたのです。その経緯はブログに書いてますのでそちらをご覧ください。その時に決めた布陣が今日のスタメンです。ご覧になってすぐ判るうように「小さい!」です。その通り、高さよりも動きを重視した布陣です。小さくなってもいいからスピード・バスケット勘・強い意志を優先に選びました。カマラは1秒たりとも出したくはなかったのですが、学校が招いた外国人留学生ですからどんなに許しがたい行為をしても、本人が出たいと言えばカマラを除外する権限は私にはありません。そこで約2分ほど出しましたがすぐ引っ込め「お前、俺の指導を受ける気が本当にあるのか?今のプレイはダメだとこれまでに何十回も指導したことだぞ!」と叱り飛ばしました。今の私のアタマの中にあることは明日からの試合が「悔しいけどカマラの高さが必要だ」という試合にならないことです。なんとしても小兵軍団で勝ち抜きたいということです。

2日目

今回の試合で唯一後悔しているのが今日の2試合目です。第1シードの鎮西を大差で破ったとき「東京に行ける ぞ」と思いました。それが浅はかでした。勝負の世界に何年身を置いているんだと、自分を叱りました。勝負の世界はそんなに甘くありません。必ず反動があったり不調の波に翻弄されたりします。それを忘れて浮ついてしまった自分をこの記事を書いている時点でまだ許せません。

3日目

終始どっちに転ぶか判らない展開でした。でも、こんな勝負に持ち込めたのはなんだかんだ言ってもカマラのおかげです。大会3日前に突然体育館にカマラが現れなければこんな試合はできなかったと思います。そいう意味では認めてあげましょう。でも心残りがもう一つあります。濱田を東京に連れて行ってやれなかったことです。彼女は2年時に前十時靱帯を切ってリハビリ中でした。鎮西戦で確かな感触をつかめたので一層その思いは募ります。でも、勝負事に関わる指導者は選手の悔し涙を背負い込んで生きて行くのが宿命です。自分で選んだ道。前に進むしかありません。文責:山崎